

愛知県立高浜高等学校で防災講座を行いました

令和6年12月12日（木）、愛知県立高浜高等学校で1年生約200名に防災講座を行いました。高浜市での防災講座は、高浜港小学校、高浜小学校に続いて3校目です。学校の近くには稗田川が流れています。

講座では、高浜市でも被害のあった伊勢湾台風、昭和28年9月洪水、高浜高校も浸水した東海豪雨など過去の水害について学習しました。伊勢湾台風と同じコースを通ると言われていた平成30年の台風21号では、コースが少し外れて関西空港が浸水した事を伝え、「台風が通るコースが、もし外れていなかったら自分の住んでいる地域が浸水していたかもしれない」と、自分事として捉える大切さも学びました。

また、VRによる浸水疑似体験の後には、「浸水する前に避難したい」「警報が出たら早く避難したい」などの感想があり、早期避難への重要性が伝わっていました。

伊勢湾台風A I 語り部「伊勢湾太郎さん」との対話体験では、「被害総額はいくらぐらいでしたか?」「伊勢湾台風ではどのくらい浸水したんですか?」など、対話を通して理解を深め、最後には、伊勢湾台風に関する三択問題を出題してもらいました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子はケーブルテレビKATCHに取材頂きました。

